

- 1 (a)  $\gamma=1.4$ の理想気体がある。この気体の断熱過程で  $PV^{1.4}=\text{一定}$  が成り立つとき、 $P$  と  $T$  の関係、および  $T$  と  $V$  の関係を求めよ。
- (b) 気圧  $1.00 \times 10^5 \text{ Pa}$ 、体積  $1.00 \times 10^{-2} \text{ m}^3$ 、温度  $20^\circ\text{C}$  の空気 ( $\gamma=1.40$ ) をピストンに入れて断熱的に圧縮したら、温度が  $400^\circ\text{C}$  になった。ピストン内の圧力と体積はそれぞれいくらか。空気は理想気体であると仮定する。有効数字は3桁で示せ。

- 2 下のデータを用いて、以下のケースについてエントロピー変化を計算せよ。

(a)  $0^\circ\text{C}$   $1.0 \text{ kg}$  の水をゆっくり（準静的に）加熱して  $100^\circ\text{C}$  にした。この水のエントロピー変化を計算せよ。

(b)  $0^\circ\text{C}$   $1.0 \text{ kg}$  の水を凍らせて  $0^\circ\text{C}$  の氷にした。この水のエントロピー変化を計算せよ。

(c)  $0^\circ\text{C}$   $1.0 \text{ kg}$  の水と  $100^\circ\text{C}$   $1.0 \text{ kg}$  のお湯を混合させた。全系のエントロピー変化を計算せよ。

水の熱力学的諸量

比熱 ( $\text{J/kg}\cdot\text{K}$ )	$0^\circ\text{C}$ における融解熱 ( $\text{J/kg}$ )	$100^\circ\text{C}$ における気化熱 ( $\text{J/kg}$ )
$4.2 \times 10^3$	$3.3 \times 10^5$	$2.3 \times 10^6$

比熱は温度によって多少値が変わるが、それは考えないでよい。

- 3 温度  $300 \text{ K}$  における窒素分子 ( $\text{N}_2$ ) の定圧モル比熱  $(m/n)c_p (=C_p)$  は約  $29.1 \text{ J}/(\text{mol}\cdot\text{K})$  である。

大気圧  $1 \times 10^5 \text{ Pa}$  のもとで  $300 \text{ K}$ 、 $1.00 \text{ mol}$  の窒素ガスが  $100 \text{ J}$  の熱を吸収した。次の量を計算せよ。なお、窒素は理想気体と考えてよい。気体定数は、 $R=8.31 \text{ J}/(\text{mol}\cdot\text{K})$  である。

(a) 気体は一定圧力（大気圧）のもとで膨張し、温度が上昇した。熱の吸収にともなう体積の増加  $\Delta V$  と温度の上昇  $\Delta T$  を求めよ。

(b) 吸収した熱のうち、内部エネルギーの増加に使われたのは何  $\text{J}$  か。

(c)  $300 \text{ K}$  における窒素分子の運動の自由度  $f$  はいくつか。またこの自由度は、2原子分子  $\text{N}_2$  のどのような種類の分子運動に相当するか。

(d) この過程でのエントロピー変化を計算せよ。

- 4 あるエアコンを冷房運転させたところ、 $600 \text{ W}$  の電力を消費して、室内から毎秒  $2400 \text{ J}$  の熱を外部にくみ出すことができた。このエアコンについて以下の間に答えよ。

(a) COP, および室外への放熱（単位ワット）を求めよ。

(b) 外気温が  $30^\circ\text{C}$  のとき、室内を  $25^\circ\text{C}$  に維持するのに上記の消費電力の25%の電力消費で済んだとする。COPが一定であると仮定し、この部屋の熱伝達率（単位時間当たり外部から入ってきた熱：単位ワット）を推定せよ。

(c) このエアコンを(b)の条件で運転させたときの理論的なCOPの最大値を求めよ。カルノー・サイクルを逆運転させた場合を考えれば良い。

- 5] マクスウェルによれば、温度 $T$ の気体分子が速度 $v$ と $v+dv$ の間にある確率は

$$p(v)dv = Cv^2 \exp\left(-\frac{mv^2}{2kT}\right)dv$$

で与えられる。 $C$ は定数、 $m$ は気体分子の質量である。

(a)  $\int_0^{\infty} p(v)dv = 1$ となるように定数 $C$ を決定せよ。

(b) 気体分子の運動量の絶対値 $|mv|$ の平均を計算せよ。

積分公式：

$$\int_0^{\infty} e^{-ax^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2} a^{-1/2}, \quad \int_0^{\infty} xe^{-ax^2} dx = \frac{1}{2} a^{-1/2}, \quad \int_0^{\infty} x^2 e^{-ax^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{4} a^{-3/2}$$

$$\int_0^{\infty} x^3 e^{-ax^2} dx = \frac{1}{2} a^{-2}, \quad \int_0^{\infty} x^4 e^{-ax^2} dx = \frac{3\sqrt{\pi}}{8} a^{-5/2}$$

注意

1：解答用紙は縦長に使い、両面に解答してよい。ただし、両面とも最上段に番号と氏名を書き込むこと。

2：各小問すべて配点は10点である。合計100点になるように選んで解答せよ。小問単位で選択してよい。

3：問題番号と小問番号を記入して解答すること。正しく番号が記入されていない解答は無効とする。

4：計算と答えは別である。計算結果を出したら、改めて答を書き直すこと。（単位を忘れずに！）

(例)  $x = a + b = (1.20 \text{ J}) + (2.27 \text{ J}) = 3.47 \text{ J}$

A. 3.47 J